

2010年12月1日

報道関係各位

 株式会社MPD
 代表取締役社長 吉川 英作

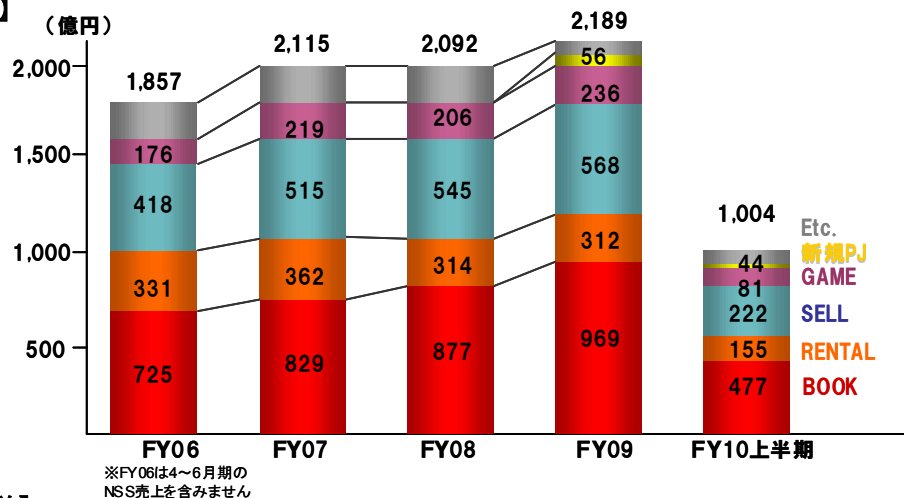
2010年度上半期、減収増益

売上高 100,040 百万円、経常利益 873 百万円

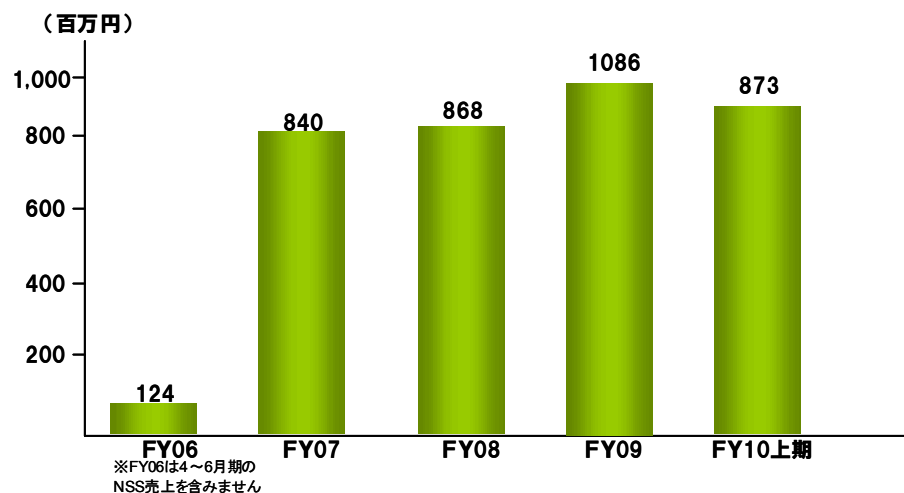
TSUTAYA 店舗で取り扱う商品の商物流事業会社、株式会社MPD(本社:東京都渋谷区 代表取締役社長 吉川英作)の2010年度上半期の売上高は100,040百万円(前年比97.5%)、経常利益は873百万円(前年比183.4%)の減収増益となりました。アイテム別売上高では、BOOK事業が前年比を超えて推移致しましたが、エンタテインメント業界の伸び悩みと共に、SELL・RENTAL・リユース事業が目標に届かず、新規事業のプラス効果を加えても、増収することが出来ませんでした。また経常利益については、SELL在庫のコスト圧縮効果や減収による返品調整引当金の戻し入れ、新規事業のプラス効果により、大幅増益となりました。

■ 2006～2010年度上半期の売上高・経常利益推移

【売上高】



【経常利益】



■ 2010 年度通期の見通しについて

今期の3つの重点テーマの一つである「BOOK 構造改革」では、チャージ契約が出版社様・店舗様のご理解を得ながら、順調に推移しております。また、出荷高を効率化しても売上高が増加し返品額が減少するという販売実績が前期比で達成されており、今期も継続して高い目標（BOOK 売上高 1,050 億円、雑誌書籍返品率 30%）を目指します。

更に残りの今期重点テーマである「物流再編」「統合効果」を推進することで新規事業を発展させ、MPD の売上構成比の一つの柱に育てていくこと、またエンタテインメント業界の環境は大変厳しいですが、SELL・RENTAL 事業の一層の効率販売に努力して、二期連続の増収増益を目指して参ります。